

## 県指定重要文化財<彫刻>

### もくぞうだんじょしんざぞう 木造男女神坐像

指定日 昭和38年4月25日

所在地 菊池市北宮 北宮阿蘇神社



本像は男神<sup>たい</sup>5 軀、女神5 軀からなる神坐像で、男神が48～58cm、女神が33～39cmの桧の一木造りである。男神は老年・壮年に造り分けられているが、女神はみな若々しい美しい姿である。いずれも、像身の底面に応永10年（1403）6月1日の墨書銘があり、全ての大願主は菊池武朝で、願主はそれぞれ菊池一族の男・女となっている。このように同年月の在銘神像が10軀も揃っていることは極めて稀なことである。

男神像は全て束帯姿で冠をつけ袍をまとい、両手を膝の上に揃えて笏をとるが、笏は失われている。女神像は3 軀が唐衣を着て、袖の中で手を合わせ、2 軀が袍をまとい、胡粉がところどころに残り、唇・胸の掛帯、袖口に朱が、髪に墨が残る。作者は仏匠播磨法橋といわれるが、法橋の伝記については不明である。